

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

平成 25 年度事業報告

I. 事業の実施状況

今年度の実施状況は以下の通りです。

1. 会員の会員による運営体制

(1) 会議

①平成 25 年度通常総会の開催

日 時 平成 25 年 5 月 28 日 (火) 13 時 30 分～14 時 35 分

場 所 札幌市民ホール

出席者 478 名 (出席者 74 名 委任状 404 名)

議 題

(ア)平成 24 年度の事業報告・決算報告・監査報告

(イ)平成 25 年度の事業計画・収支計画(案)

(ウ)その他

議長に清田実氏が指名され、各担当理事より議事に基づき議題の提案があり、平成 24 年度の事業報告、決算報告、監査報告が承認されました。

続いて 25 年度の事業計画(案)収支計画(案)について提案通り承認されました。

②第 31 回理事会

日 時 平成 25 年 5 月 11 日 (土) 10 時 30 分～11 時 30 分 研修室

議 事

【決議事項】

(ア)平成 24 年度の事業報告・収支決算について

(イ)平成 25 年度の事業計画(案)・活動予算(案)について

(ウ)助成事業の報告について

(エ)役員の改選(案)について

(オ)平成 25 年度通常総会の開催について

(カ)その他

開会にあたり、協議事項につきましては奥田副理事長と常勤理事が説明しました。

理事の選任につきましては奥田副理事長より説明がありました。

③第 32 回理事会

日 時 平成 25 年 5 月 28 日(土)14 時 50 分～15 時 00 分

場 所 札幌市民ホール

【決議事項】

(ア)役員の所掌について

(イ)常勤役員の決定と業務費の支給について

(ウ)その他

奥田副理事長が明細を説明し、審議の結果全員一致で承認されました。

④第 33 回理事会

日 時 平成 25 年 5 月 31 日 (金) 10 時 30 分～11 時 30 分

場 所 シーズネット研修室

【審議事項】

理事長の選任について

岩見太市氏が理事長に選任されました。

⑤第 34 回臨時理事会

日 時 平成 25 年 10 月 8 日 (火) 13 時 00 分～14 時 10 分

場 所 シーズネット研修室

【議事審議と議決の結果】

理事長岩見太市氏の死去により奥田龍人氏が理事長に推挙され満場一致で承認されました。被選任者は就任を承諾しました。

⑥第 35 回理事会

日 時 平成 26 年 2 月 22 日 (土) 11 時 00 分～12 時 00 分

場 所 シーズネット研修室

【協議事項】

(ア)「今後のシーズネットのあり方」について

【報告事項】

(ア)平成 25 年度末の収支決算報告と年度末見込みについて

(イ)さっぽろ孤立死ゼロ推進センターについて

(ウ)日興美装(株)提携事業について

(エ)あんしん住まいサッポロについて

(オ)サービス付き高齢者向け住宅登録事業について

(カ)サロン「このはな」について

(キ)サービス付き高齢者向け住宅等相談員養成研修事業について

(ク)その他

協議事項の前に奥田理事長より下記についての説明がありました。

(ア)NPO法人シーズネットと溪仁会グループのコラボレーションの提案。

社会福祉法人溪仁会よりソーシャルワーカーの柿沼英樹氏が派遣され新しい事業に専念する予定との説明がありました。

(イ)認定NPOの申請について

認定NPO取得支援として損保ジャパンより助成金が交付されました。

協議事項は奥田理事長が提案理由について説明しました。

報告事項につきましては各担当理事より説明がなされ、すべて承認されました。

⑦運営会議

理事長が招集する会議です。

出席者は奥田理事長、理事八木紀夫、理事千秋憲博、理事鐵川幹夫、理事山根勝利、理事杉谷憲昭、あんしん住まい担当篠塚正徳、孤立死ゼロ担当青木基成の 8 名となりました。

主な議題は月次の会員状況、活動状況、サークル活動報告、各種事業の進捗状況、新規事業の開拓などについて検討、協議を行いました。

⑧スタッフ会議

毎月一回事務局員全員参加の会議で運営会議の取り決め事項の報告、事務局主導の各種行事の徹底と連絡事項の周知徹底を図りました。この会議で事務局員全員の意見交換も行いました。

毎回 15 時 30 分から 16 時 30 分に研修室で開催しました。

⑨推進会議

毎月第二木曜日の 10 時 30～12 時 00 分各サークル・グループの代表及び事務局スタッフが参加して開催しました。

開催場所は札幌エル・プラザ 2 階の集会室、又はシーズネットの研修室で開きました。

役員は幹事長 1 名副幹事長 2 名書記 1 名の 4 人で構成しており参加サークルの代表が交代で務めております。

今年度の幹事はハーモニカ・オカリナ教室、短歌勉強会、酒と語り場ポレール&糧とく、麻雀入門の 4 サークルの代表に 4 月から 3 月の 1 年間務めていただきました。検討議題は秋のシーズネット祭り、高齢者福祉バス旅行などにおける会員交流会、大通の花壇ボランティアの参加、シーズネットの各事業への参加要請などについて協議を行いました。

廃止になったサークルは『絵手紙を楽しむ会』『ハッピーダンス』『朗読を楽しむ会』の 3 サークルでしたが、新しく誕生したサークルは『シーズネットギャラリー』『ハーモニー「森の声」』『楽しいシングルライフ』の 3 サークルで 3 月末のサークル数は 29 サークルと従来通りでした。

「カーリンコン」「ハロー、サンキューからの英会話」など新しいサークルの呼びかけもあり次年度がたのしみです。会員の皆様の企画力に期待しております。

II. 会員活動状況

(1) 会員交流行事

①シーズネット祭り

日 時 平成 25 年 9 月 27 日（金）9 時 50 分～16 時 00 分

場 所 札幌エル・プラザ 3 階 参加者 263 名（内会員 228 名・市民 35 名）

今年のシーズネット祭りは推進会議のリーダーを総務・会場・展示・発表・舞台装置・接待・抽選・写真担当と細分化して責任者を取決めました。

推進会議の八木幹事長の開会挨拶、堤副理事長の挨拶の後に午前の司会者には短歌勉強会の福栄幹事、午後の司会者は酒と語り場の尾崎幹事と 2 回に分け運営致しました。

シーズネットギャラリーの代表によるパソコン・プロジェクター使用による 1 事業 5 サークルの活動を紹介いたしました。

別室の健康スタジオでは囲碁対局の体験の他 13 サークルのパネル展示による活動報告とサロン「このはな」の手芸品の販売を行いました。

また有志による抹茶接待などもあり会員に大好評でした。

特に大ホールの前にサークル『楽しいお花』の生花展示と昨年同様、世界的なピアニストの小泉香織さんのピアノ演奏もあり、祭りを盛りあげていただきました。最後にクオカードの抽選もありましたが、抽選方法など検討しなければならない点多々あり今後課題を残しました。

②高齢者福祉バス～札幌市社会福祉協議会地域福祉係提供～

(ア)サークル名豊友会・旅行クラブ合同主催

5月10日(金)お花見会～ワイン工場・鉄道記念館見学 参加者 52名

(イ)サークル名シーズネット合唱団

6月25日(火)初夏のレクリエーション「緑のそよ風うたの旅」滝野すずらん丘陵公園と定山溪「森の譚」方面 参加者 45名

(ウ)サークル名百聞会

8月20日(火)長沼町の農園直営レストラン、栗山町の小林酒造、江別市のセラミックアートセンター等の見学 参加者 34名

(エ)サークル名歩こう会

10月11日(金)神威岬ウォーキングとしゃこたんの湯を楽しむ 参加者 39名

③新春交礼会

今年はシーズネットの元理事長、故岩見太市さんご逝去のため服喪期間として中止することに致しました。平成27年度には奥田理事長のもとに再開したいと考えております。

(2)支部活動

①旭川支部

例年通り4月中旬に支部総会を開催し一年間の支部活動について検討しました。

季節ごとの活動を検討し、サークル活動として麻雀同好会、麻雀教室、ランチ会などを開きました。

研修会は5月から翌1月まで气象台見学、庭園見学、手打ちうどん講習会などのほか、ふまねっと運動、ひよつとこ踊り、太極拳講演会と健康に対応した体験会など多岐にわたりました。

今年は特に北海道社会福祉協議会主催の中国帰国者との交流会を延べ4回開催しました。

②空知支部

平成25年10月19日(土)13:30～「であえーる」3階ホール

NPO法人シーズネット空知支部開設10周年及び「サロンからたち」開設5周年の記念パーティが開催されました。

事務局の奥田理事長の挨拶の後、支部代表の富樫清美氏が今までの活動実績とこれからの展望について述べました。

岩見沢市役所の部長の御挨拶もいただきました。シーズネット合唱団と教育大学生との合同の合唱の他に、札幌交響楽団コンサートマスターの大平まゆみさんがヴァイオリン演奏で華を添えてくれました。

③函館支部

函館支部は開設 10 周年を迎えました。

10 月 20 日に支部結成 10 周年記念講演会を開きましたが、テーマ「函館における 保険・医療・福祉の現状と課題」として好評でした。夕刻に懇親会を開き、支部結成 10 周年を祝いました。

5 月に第 10 回支部定期総会を開き、毎月月例会、役員会を開き前月までの活動報告と当月・翌月の活動協議を行い、活動計画等の検討をおこないました。

支部通信は偶数月に編集会議を開き検討し、隔月発行しました。平成 26 年 3 月で 62 号となりました。

会員向けにはパークゴルフ、マーじゃん大会など多岐にわたり、研修会、講座としては下記の 3 テーマについて勉強し意識を高めました。

テーマ「災害に備えて」

テーマ「函館市社会福祉協議会の活動と現況」

テーマ「函館市緑の基本計画」

④釧路支部

2006 年 4 月に開設しましたが所属会員の高齢化に伴い 9 月末に閉鎖しました。

代表の内海志津子さんの努力に感謝致します。

⑤北見支部

2002 年 2 月に開設しましたが所属会員の高齢化に伴い 9 月末に閉鎖しました。

代表の上野栄一さんの努力に感謝致します。

(3) サークル・グループ活動

今年度末のサークル活動は別紙の参加者集計表の通り、29 サークルとなりました。代表が交代したサークル、後継者のいないサークルと混在しておりますが、サークルの継続には後継者が必要であり、会員各位の積極的な活動に期待しております。

(4) 発表会・講座

①第 11 回シニアの提言のつどい

日 時 平成 25 年 9 月 13 日 (金) 14:00~15:30 参加者 300 人

場 所 札幌市社会福祉総合センター4 階大研修室

テーマ「人生いかによく生き、よく終えるか」

主催はNPO法人シーズネットと札幌市社会福祉協議会でしたが、札幌市老人クラブ連合会の共催、札幌市の後援のもとにテーマを取決めました。今年は 19 編の応募があり、その中から 5 人の方に発表していただきました。

発表題目は「平和のための国際交流」「人間らしく生きよう」「自分の命は人のために」「私の生・老・病・死」「車椅子の夫と前向きに生きる」とそれぞれ提言され、その後のシンポジウムでは「終活」について意見を交換しました。

シニアの提言は今年で 11 回を迎えましたが、札幌市の財政事情もあり今回で終了することになりました。会員の皆様の長い間の御支援に感謝致します。

②知恵袋講座

今年は第 87 回より 98 回まで年間 12 回開催しました。

認知症のこと、歯科介護予防の知識、健康でいるための秘訣健脚と健脳へのお誘い、雪道の転倒予防と歩き方など講座内容は、高齢者の身近な知識習得に欠かせない問題提起が多いのが特徴でした。

講師の方は認知症グループ協会、北海学園、医療大学などの教授、病院長など多士済々の方が勤められました。

累計で 273 名と平均 22.8 名と多くの会員の方が参加され、関心の高さが認識されました。

Ⅲ. 事務局主体活動

(1) 花壇ボランティア

シーズネット 10 周年を記念してスタートした札幌市大通公園花壇ボランティア活動も 4 年目を迎えました。雨天の場合中止といたしましたが参加者は 44 名となりました。事務局も参加会員の万一の損害事故に対処するため参加者全員にレクリエーション保険の保険料を事務局負担にて契約しております。季節の花々の植え付け個所は大通公園西 3～4 丁目のボーダー花壇 2 面で参加者を 4 班に分けて、4 月より 10 月までの毎週木曜日 10 時～12 時までの間に花苗植え、花柄つみ除草雑草取り水やりなどの作業を行いました。花壇ボランティアに市民、観光客との交流や花の名前の問いかけやテレビなどの報道機関の取材もありました。来年度も引き続き活動してゆきたいと考えています。大勢の会員各位の参加を期待しております。

(2) 新入会員オリエンテーション

今年も毎四半期ごとに (4. 26、7. 26、10. 25、1. 31) に開催し、52 名の参加がありました。新入会員のシーズネットへの入会動機を發表していただき、シーズネット活動への参加を呼び掛けてきました。シーズネットについて、事務局の役割、サークル活動、シーズネット通信などの読み方などについて説明致しました。

シーズネットの定款、リーフレット、都度の通信なども配布致しました。

会員数も年度末で 978 名となり、述べ 198 名の方の新入会がありました。

(3) 広報活動

①シーズネット通信の発行

巻頭言は奥田理事長がエッセー中心とした文章を作成することになりました。

この他各事業の開催案内サークル・グループの活動状況支部の動向、道外シーズネット姉妹組織の動向など幅広く網羅しております。

掲載記事は毎月 10 日までに広報へのメールか文書にて提出願い 7 名の担当者により作成・校正・印刷を 20 日頃までに行っております。

発送は 23 日頃会員有志のボランティア活動により、封筒詰めを行い月末までに会員の手元に届くよう努力しております。

発行部数は毎月 1, 150 部、会員あての他に事業開催時に配布し町内会、イオン、社会福祉協議会、行政の出先機関への配布と多岐にわたっております。

②ホームページの作成

2004年6月14日の開設以来のアクセス数は186,805人となっております。
シーズネットの日々の活動を一般市民へのPRと啓蒙のため、各種の情報を発信しております。シーズネットの歴史、活動の現況、主催事業・委託事業のPR等サークル・グループのリーダーから提供を受けた最新の記事などを掲載しております。

(4) 訃報

NPO法人シーズネット理事長岩見太市さんご逝去

日 時 平成25年10月4日 享年73歳

葬儀日程

お通夜。平成25年10月07日(月)北海斎場

告別式。平成25年10月08日(火)北海斎場

弔電108通。参列者450名

思い出を語る会。平成25年11月27日(金) 札幌エル・プラザ3階大ホール

白カーネーションの献花。参列者180名

IV. 事業への取り組み

(1) 生活支援事業

①ほっとあんしん事業

【事業概況】福祉除雪

【事業収入】福祉除雪による収入

【事業支出】作業支援費

札幌市西区と北区地区対象者14件支援者1名

(2) 地域交流サロン事業

【事業概況】

地域の住民を対象とした地域サロンとして札幌市内での開設は1ヶ所だけとなりました。

【事業収入】サロン利用料

【事業支出】家賃、活動交通費、通信費印刷費等

①サロン「このはな」

平岸の木の花団地内第二集会所での活動が2年目になりました。

活動の周知は毎月、会員向け「シーズネット通信」UR団地は「各棟の掲示板」、隣接する市営団地へは個別投函し、平岸まちづくりセンター、FMアップルには月間予定表の配備をお願いし集客に努力しましたが、利用者数は延べ1,751名で昨年を12名上回った程度でした。

しかし月の単人員で見ると前半は40名程度でしたが、後半は60名となり、サロンの認知度は上がったように見受けられます。

開設日は土、日、祭日を除く平日で10時～16時(冬期間は15時30分)

支援者が毎日常駐して「パッチワーク」「パソコン」「食事会」「ばくりっこ」

「誕生会」「このはな喫茶」等、利用者目線でのカリキュラムを実施し好評でした。

今年度の特徴は新木の花団地第1集会所を使つての「カーリンコン」多目的広場を使った「グラウンド・ゴルフ」と巾を広げた活動が出来まして北海道住宅管理センターが目指す施設の有効利用にも寄与することが出来ました。

サロンは「地域コミュニティの場」と位置付けているので平岸地区からの集客努力が今後のカギと思われます。

(3) さっぽろ孤立死ゼロ推進センター

①孤立死防止・地域連携ネットワークモデル事業

(高齢者地域見守り普及啓発事業運営業務)

【事業概況】

この事業は平成25年から平成26年までの1年間高齢者が地域から孤立した状況で誰にも看取られず亡くなる「孤立死」発生が社会問題になっていることを踏まえ、少しでも孤立死を防止する観点から、見守り活動の促進を目的としています。が、札幌市の担当部署の変更に伴い、今年度末を以て札幌市との委託契約を終えることになりました。

今後は今までの経験を生かしてシーズネットの自主運営組織「北海道孤立防止ネットワークセンター」として存続することになりました。

【事業収入】

札幌市との委託契約

【事業支出】

相談窓口、シンポジウム・出前講座・講演会の開催費用、チラシ作成費用、広報活動費用。

【事業内容】

(ア)「マンションでの孤立を考える」

日 時 6月19日(水) 14:00~16:30

場 所 札幌市民ホール二階参加者 120名

基調講演「集合住宅での孤立死を考える」

講演者 さっぽろ孤立死ゼロ推進センター所長奥田龍人氏

(イ)「孤立死を考える」～ふたつの老い～

日 時 11月26日(水) 14:00~16:00

場 所 社会福祉総合センター参加者 116名

シンポジウム「誰もが安心して暮らし続けるために」

(ウ)講演会・シンポジウムの開催

日 時 3月24日(月) 14:00~16:30

場 所 札幌エル・プラザ3階大ホール 参加者 298名

基調講演「孤立死を考える」～今、私たちにできることはなんだろう?～

講師 北翔大学人間福祉学部教授林恭裕氏

シンポジウム～誰もが安心して暮らしつづけるために～

パネリスト。阿部貞夫氏、河木タカ子氏、斎藤潤子氏

コーディネーター。奥田理事長

時代に適応した講演会なので市民の関心も高く多くの参加者が集まり成功裏に終わりました。

②もみじ台管理センター有効活用事業

(ア)民間業者と地域包括支援センターとの連携の仕組みづくり

【事業概況】

この事業は日興美装工業株式会社と提携し、市営もみじ台団地の管理センターにおいて業務を円滑に運営するためNPO法人シーズネットが提携しました。提携期間は平成24年から平成27年までの4年間となり今年は3年目となりました。

【事業収入】

もみじ台団地管理業務費

【事業支出】

受付業務図書館業務担当として2名雇用

【事業内容】

高齢者の見守り、支え合い活動を行いました。

(ア)もみじん手わざ&賑わいまつり

日時 7月28日(日)もみじ台管理センター10:00~15:00

出展参加数 20店舗参加者述べ1,500名

もみじ台管理センター2階大ホールで開催しました。

参加者は女性が多く、もみじ台団地以外からの参加者もありました。

出展社は介護予防・紙ヒコーキ・ふれあいサロンコーナーに分れ舞台演目は大道芸、太極剣、京劇、腹話術などを観覧して楽しみました。

この中で初めて実習室で中国帰国者支援交流事業の一環としてギョウザ作りを体験し好評でした。

参加して楽しかったという方が90%を占め成功裏に終わりました。

(イ)ふれあい映画&おしゃべりサロン参加者130名

日時 9月29日(日)映画上映作品名 「サンザシの樹の下で」

③NPOによる地域ネットワーク事業

平成25年度札幌市市民まちづくり局からの委託でNPOと町内会、学校、商店街、企業等が協議して地域課題に取り組む活動です。

モデル地域厚別区第二もみじ自治会、なないろテントを利用し野外コミュニティを開催しました。

(ア)なないろテント

公園や空き地など住民にとって身近な場所に「かわいい!」テントを設置して、屋外で気楽に集うことができる場で活動を進めてきましたが、このたび「札幌市NPOによるネットワーク事業」による助成を受け開催の運びとなりました。

日 時 平成 25 年 9 月 1 日(日)11:00~14:00

場 所 もみじ台第 2 集会所裏(札幌市厚別区もみじ台北 4 丁目 7)

内 容・オープンセレモニー(七色の風船を空に放ちます)

・アトラクション(アコーディオン生演奏による歌声喫茶、合唱など)

・ミニ子供縁日

④中国帰国者支援事業

北海道社会福祉協議会中国帰国者・交流センターから「地域交流支援推進」

孤立しないための拠点づくりに協力することになりました。

概要は(イ)地域交流(ロ)居場所づくり(ハ)穏やか元気づくり(ニ)文化活動の発表などとなりました。

(ア)中国・樺太帰国者支援交流(料理教室・歌声サロン)

日 時 平成 14 年 3 月 17 日(月)

場 所 旭川神楽公民館旭川市神楽 3 条 6 丁目 1-12

参加者 22 名(帰国者 6 名、ボランティア 9 名、市社協等 6 名)

実施内容 料理教室、歌声サロンなど

料理教室は樺太帰国者の指導により「ロシアの家庭料理教室を実施してロシアの家庭料理の「ペリメニ」「ワレニキ」などを味わい、後半は「うたごえ便よりみち」の石澤代表のリードで「カチューシャ」「トロイカ」などのロシア民謡を歌い交流を深めました。

(4)あんしん住まいサッポロ事業

【事業概況】

平成 23 年の 4 月に中央区北 1 条西 2 丁目オーク札幌ビル 1 階に拠点を移してから現在、相談員 18 名を擁し 3 年が経過しました。

住替えを希望する人への相談業務も 5 年目になり市民を始め行政、マスコミ、事業者等からも相応の評価を得ることが出来ました。

今年度も電話や来所される相談者の皆様から希望される条件をもとに適切な住まいを選ぶアドバイスをする活動を進めてきました。

今年度はその実績を北海道に評価され、私達が札幌で展開している事業を札幌以外の道内主要市町村に展開するため協力してほしいとの要請があり「高齢者の住環境・相談の場づくり普及推進事業」(3 ケ年計画で北海道内に高齢者住宅に関する情報提供や相談を受ける場を設けることを目的とした事業)を受託しました。

初年度は 6 月～10 月に高齢者の住み替え相談についての現地実態調査を実施。

夕張市、余市町、函館市等 13 市・町を巡回しました。

平成 26 年 1 月～3 月に旭川市・函館市・苫小牧市にて市民講座「あんしん！！高齢者の住いを考える」を開催しました。

又、札幌市や近郊の高齢者向け住宅を殆どを訪問し情報を収集してきました。

昨年 8 月に 2013 年度版「シニア住まい情報さっぽろ」6 刊目を 4,000 冊発刊

し、好評発売中で今年度末の販売数量は2,115冊となりました。

平成25年度の相談実績は

- ①相談者の内訳は相談者本人549名54.1%親族465名45.9%
- ②年代は70歳代34.0%、80歳代40.6%となっております。
- ③相談件数は電話相談587件、来所相談1,014件 合計1,601件と前年比127%と伸びまして、益々社会的に認知されてきて存在価値が高まってきております。
また、北海道から依頼された高齢者住宅環境調査事業では年度末で第2次ステージが終了し報告書を提出しました。

【事業収入】

- ①札幌市の「さぽーとほっと基金」からの助成、住宅情報誌の販売益
ホームページのバナー広告、寄付金、各種研修会の参加料等
- ②北海道の「高齢者の住環境提供・相談の場づくり普及推進事業」委託料

【事業支出】

相談員14名の活動費・交通費・住宅情報調査費・印刷費・雑費等
相談場所は札幌市住宅課より提供されています。

【事業内容】

- ①第1回「あんしん住まいサッポロ」市民セミナー
日時 平成24年8月23日（金）14:00～16:00
場所 札幌エル・プラザ3階大ホール 参加者300名
講演
第一部 基調講演「介護保険制度と高齢者居住対策の融合」
講師：NPO法人シーズネット副理事長奥田龍人氏
第二部 講演「札幌市及び近郊の高齢者向け住宅の現状」
講師：あんしん住まいサッポロセンター長、西原桂子氏
- ②第1回「高齢者住宅」バス見学会
日時 平成25年11月20日（水）
内容 高齢者住宅に関する基礎知識の研修と3施設の見学
参加者20名（施設規模の関係から人数制限があります）
- ③第2回「あんしん住まいサッポロ」セミナー
日時 平成26年1月22日（水）13:30～15:30
場所 札幌市民ホール2階大会議室
テーマ「学ぼう！認知症のあれこれ」
第一部「認知症気づきのポイントと介護保険申請手続きについて」
講師：札幌市西区第3地域包括支援センター
主任介護支援専門員 元永和徳氏
社会福祉士 片岡千恵氏

第二部「認知症とグループホームでの暮らしについて」

講師：グループホーム蔵代表取締役 永塚とし子氏

管理者

阿部美樹氏

参加者 71 名

④第 2 回「高齢者住宅」バス見学会

日 時 平成 26 年 3 月 26 日(水)

内 容 高齢者住宅に関する基礎知識の研修と 3 施設の見学。

参加者 20 名

⑤出前講座

高齢者の住いの種類、サービス付き高齢者向け住宅の基準有料老人ホームとサービス付き高齢者住宅とシニア向け住宅の違い、選ぶポイントなどのセミナーの開催

(f)介護予防センター「すこやか倶楽部」

平成 25 年 4 月 23 日中央区北桑園地区を皮切りに市内 8 地区で開催しました。

(i)その他

余市社会福祉協議会、岩見沢市民大学、札幌シニア大学、石狩振興局主催で北広島で開催しました。

(5)サービス付き高齢者向け住宅登録事業

【事業概況】

平成 22 年 4 月より北海道から「高齢者の居住の安定確保に関する法律に基づく指定登録等運營業務」（高齢者円滑入居賃貸住宅登録業務・あんしん賃貸支援事業登録業務）を受託しました。

平成 23 年 10 月に制度が改正され「サービス付き高齢者向け住宅登録事務」となりましたが契約を継続し、平成 24 年度及び平成 25 年度も登録事務を受託しています。

平成 23 年 10 月の制度改正では札幌市、旭川市、函館市の 3 市については大都市の特例として登録事務を行うこととなりました。

札幌市からも登録事務を受託しまして、北海道庁、札幌市の 2 つの登録業務を受託して担当職員 2 名を雇用しております。

北海道については指定登録機関としての指定が必要で札幌市については競争入札参加資格が必要で、両自治体とも資格を有しているのはシーズネットだけであり、平成 26 年度以降も北海道と札幌市から受託を期待されています。

平成 26 年 4 月から登録手数料を徴収することとなり、北海道分は申請時に登録戸数に応じた北海道証紙を貼付して納付し、札幌市は現金で登録業者が徴収し、登録業者の収入とすることが決定しています。登録業者には登録手

に発生します。

【事業収入】

北海道は受託収入、札幌市は受託収入と登録手数料収入

【事業支出】

パート 2 名の報酬、消耗品費等

【事業内容】

平成 25 年度登録実績は年間累計で北海道 34 件 951 戸、札幌市 29 件 1,239 戸

全国では目標 600,000 戸に対し、4,555 件 146,544 戸となりました。

(6) サービス付き高齢者向け住宅等相談員養成研修事業

(国土交通省平成 24 年度高齢者等居住安定化推進事業)

サービス付き高齢者向け住宅等に配置された相談員に対し相談援助のレベルアップを図るための養成研修を実施することで適切な相談援助の提供、看取りケア、コミュニティケアなどができるようになることを目指します。なお本事業は北海道高齢者向け住宅事業者連絡会との共同事業です。

【事業収入】

国土交通省補助(三分の二)、養成研修受講料

【事業支出】

事務局専従者 1 名雇用事務局事業委託（北海道高齢者向け住宅事業者連絡会）ほか

【事業期間】

- ・平成 24 年 12 月～平成 26 年 2 月

【事業内容】

- ・相談員養成研修事業検討委員会を 3 回開催。
- ・相談員養成研修テキスト作成部会を 4 回開催。
- ・検討委員会、テキスト作成部会において前年度の養成研修実施状況、受講者 9 ケ月アンケートなどを元にして、テキスト、カリキュラム、Eラーニング教材などについて前年度作成分の見直しを実施しまして「決定版」としました。本年度の養成研修として
- ・10 月 5 日～27 日に A 日程を受講者 13 名で実施。
11 月 12 日～12 月 7 日に B 日程を受講者 16 名で実施。
- ・11 月 30 日に主に前年度受講者を対象にフォローアップ研修を実施しました。
- ・2 月 7 日に事業者、市民向けセミナーを開催し高齢者住宅における相談員役割について啓発を行いました。
- ・2 月中旬に 2 年にわたる事業の報告書を作成し関係各所に配布しまして補助事業としては終了しました。
- ・次年度は自主事業とし養成事業を継続する予定です。

(7) 野幌森林再生団体型森林づくり事業

【事業概況】

平成 22 年度からの 3 年間の契約が終り、新しく平成 25 年分から平成 27 年 3 月までの第Ⅱ期の契約となりました。

平成 17 年の台風被害で大量の風倒木の発生した野幌森林再生事業であり、野幌の原生林の登満別の 0.2 ヘクタールに苗木を植え林野の再生を目指しています。夏は笹の刈り取り、つる切りなどを行い秋には森林関係の専門家を招いた講演会とか定山溪の国有林への植樹などを行っています。

【事業収入】「社団法人森と緑の会」助成金を受けております。

【事業支出】乗合乗用車代、レンタカー代、資材代、講演会費用など。

(8) 研修生受け入れ事業

【事業概況】

サンシャイン総合学園からの実習生受け入れ事業

介護職員基礎修了者に対して「NPO 法人」活動分野目標

などを講義しました。会場はシーズネット研修室、鉄西会館などで研修し午後は「サロンこのはな」を見学しました。

4 月 9 日より 9 月 6 日まで毎月 1 回述べ 6 回開催しました。

受入人数は 95 名となりました。

【事業収入】研修費

【事業支出】

支援者交通費雑費等

V. 地域協働への取り組み

(1) 札幌市介護支援専門員連絡協議会事務局との連携

平成 24 年 4 月に法人化し介護支援専門員の自主組織として情報の共有化、資質向上、ケアマネジャーの交流目的に発足し 3 年目を迎えまして拠点
はシーズネット事務局にあります。

(2) 町内会との協働

鉄西地区町内会と平岸地区町内会に加入し、新年交礼会に参加しました。

(3) イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンについて

シーズネットはジャスコ札幌苗穂店「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に団体登録し、会員の皆様に毎月 11 日のイオンデーに黄色いレシートをシーズネットの指定ボックスに投函していただくようお願いしてきました。
このレシートの一年間の総金額の 1 パーセントがシーズネットに還元されます。
今年のレシートの 1% の金額は 26,000 円でした。この還元によりまして、今年もいつものように事務用品を購入できることになりました。会員の皆様の多大なるご協力に感謝申し上げます。

(4) シーズネットのPRについて

シーズネット通信は毎月1,150部印刷し、配布先は会員の皆様の他に毎月の事業向け講演会、サロンこのはな、北区社会福祉協議会、西区社会福祉協議会、イオン発寒店 他などです。次年度は札幌エル・プラザ4階の宣伝コーナーにも配置できるようになる予定です。

この他 毎月定期的に配置できるような個所がございましたら是非事務局にお知らせくださいますようお願い申し上げます。

(5) ソーシャルワーカーの派遣

平成26年3月10日より社会福祉法人湊仁会よりソーシャルワーカーとして、柿沼英樹氏が派遣されました。

今後の役割は

- ①介護職員初任者研修
- ②孤立防止ネットワークの構築
- ③傾聴ボランティアの育成
- ④生活支援事業の仕組みづくり
- ⑤高住連とのコラボレーション

(6) 認定NPOの資格取得の経緯について

社会情勢の変化により地域課題への解決において、NPO法人の役割への期待は年々大きくなってきました。しかしながら、NPO法人の財政基盤は脆弱でありシーズネットも同様です。そのため、広く市民・企業に寄付を募れるような体制づくりが求められます。国では「特定非営利活動促進法」の平成24年の改正で「認定NPO」を制度化し、取得したNPO法人に対する寄付については寄付者に所得税や、地方税の免減措置の特典を受けられることになりました。つきましては、シーズネットでも2年前より認定NPO取得に取り組んでいるところです。札幌市においても認定NPO取得促進のため平成26年度にNPO法人条例個別指定制度を導入するよう準備しております。

シーズネットでは本制度を利用し、次年度6月に札幌市の指定NPOの認定を受けた後、認定NPO法人を取得する予定です。

以上

平成 25 年度 事 業 報 告

1. 組 織 状 況

会員の組織状況(平成 26 年 3 月 31 日現在)			
※会員総数		978 名	前年度 942 名
	団体会員	28 名	〃 26 名
	賛助会員	53 名	〃 4 名
	個人会員	897 名	〃 912 名
※男女別会員数及び平均年齢			
	男 性	305 名	前年度 292 名
	女 性	592 名	〃 620 名
	平均年齢	72.2 歳	〃 71.8 歳
※地域別会員数			
	札 幌	770 名	前年度 791 名
	旭 川	29 名	〃 22 名
	北 見	1 名	〃 2 名
	空 知	17 名	〃 25 名
	函 館	63 名	〃 54 名
	釧 路	7 名	〃 7 名
	その他地区	10 名	〃 11 名

2. 役員名簿

役 員	氏 名	住 所
理事長	奥田 龍人	個人情報保護のため削除いたしました。
副理事長	堤 紀子	〃
理 事	國本 正雄	〃
理 事 (事務局長)	八木 紀夫	〃
理 事	千秋 憲博	〃
理 事	鐵川 幹夫	〃
理 事	山根 勝利	〃
理 事	杉谷 憲昭	〃
理 事	小林 董信	〃
監 事	猿渡 照夫	〃
監 事	小野 忍	〃

3-1 札幌会員活動状況

(議案 I 号-2)

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	実施回数	参加者数 (延べ)
<事業>					
サロン「このはな」	地域に開かれたサロン活動	通年	サロン「このはな」	245回	1,751名
高齢者の孤立を 考える講演会	マンションでの孤立を考える	6月19日	札幌市民ホール	1回	120名
高齢者の孤立を 考える講演会	孤立死を考える ～ふたつの思い～	11月26日	札幌市社会福祉 総合センター	1回	116名
高齢者の孤立を 考える講演会	孤立死を考える 今 私たちにできることは	3月24日	札幌エル・プラザ	1回	298名
もみじ台有効活用 事業	もみじん手わざ&賑わいまつり	7月28日	もみじ台管理 センター	1回	800名
もみじ台有効活用 事業	ふれあい映画&おしゃべり サロン	9月29日	もみじ台管理 センター	1回	130名
地域ネットワーク 事業	なないろテント	9月1日	もみじ台第2 集会所	1回	110名
中国帰国者支援 事業	中国・樺太帰国者支援交流	9月1日	旭川神楽 公民館	1回	22名
<活動>					
平成25年度総会	平成24年度の活動報告及び 平成25年度の事業について 検討した。	5月28日	札幌市民ホール	1回	74名 委任状 404名
シニアの提言の集い	第10回「今、私が一番大切に したいこと」	9月13日	札幌市社会福祉 総合センター	1回	300名
シーズネット祭り	サークルの日々の活動の発表と 支部を含めた会員交流	9月27日	札幌エル・プラザ	1回	228名
あんしん住まい 講演会	第1回「あんしん住まい」 セミナー	8月23日	札幌エル・プラザ	1回	300名
あんしん住まい 講演会	第2回「あんしん住まい」 セミナー	1月22日	札幌市民ホール	1回	71名
福祉除雪	高齢者・障害者宅の除雪	冬期間	札幌市西区・北区	14軒	1名
知恵袋講座	身近な話題を専門の講師を 迎えての教養講座	毎月	研修室	12回	273名
新入会員 オリエンテーション	新入会員の方に対する活動 内容や今後の方向についての レクチャー	四半期毎	研修室	4回	43名
教育研修会	サンシャイン学園研修会	毎月	研修室	6回	95名

3-2.旭川支部活動状況

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	実施回数	参加者数 (延べ)
旭川支部総会	支部活動について検討	4月17日	旭川市「八角」	1回	15名
旭川支部	新年交礼会	1月20日	旭川市「白木屋」	1回	13名
支部役員会 幹事会	季節ごとの活動を検討	4月～ 3月	旭川市 フードコート他	9回	44名
支部事業 サークル	麻雀 同好会	4月～7月	旭川市勤労者 福祉会館	4回	34名
支部事業 サークル	健康麻雀教室	8月～3月	旭川市勤労者 福祉会館	7回	91名
支部事業 交流会	ランチ会	4月～3月	旭川市 ティファニー他	9回	104名
研修交流会	旭川気象台見学&お花見会	5月20日	気象台・扇松園	1回	12名
研修会	ふまねっと体験講習会	6月17日	ときわ市民ホール	1回	14名
研修会	上野ファーム見学	7月17日	上野ファーム	1回	12名
研修会	ひよつとこ踊り鑑賞体験会	8月21日	ときわ市民ホール	1回	40名
研修会	北海道新聞社旭川印刷工場 見学	10月4日	北海道新聞 旭川印刷工場	1回	11名
研修会	旭川医大 講演会	11月12日	ときわ市民ホール	1回	20名
研修会	手打ちうどん講習会	12月18日	ときわ市民ホール	1回	13名
研修会	故 岩見代表 DVD講演会	1月21日	ときわ市民ホール	1回	6名
研修会	太極拳体験講習会	2月19日	サン・アザレア	1回	15名
交流会	十勝ガーデンツアー	9月16日	富良野～十勝	1回	6名
交流会	カラオケで唄いましょう	3月19日	タイムゾーン	1回	5名
協同参加	道社協『中国帰国者との交流会	8月～11月	フィール旭川7F	4回	22名
協同参加	あんしん！高齢者の住まいを 考える	2月26日	旭川市民文化 会館	1回	53名

3-3.空知支部活動状況

No.1

事業名	事業内容	実施 月日	実施場所	実施 回数	参加者数 (延べ)
空知支部総会	支部開設10年目	5月18日	サロン「からたち」	1回	17名
語る会	認知症見守り資格の取得	4月15日	サロン「からたち」	1回	15名
語る会	美容セミナー	4月24日	サロン「からたち」	1回	12名
語る会	記者の目線から	7月18日	サロン「からたち」	1回	18名
語る会	太平洋戦争について	8月23日	サロン「からたち」	1回	20名
語る会	フマネットについて	2月	サロン「からたち」	1回	5名

3-3.空知支部活動状況

No.2

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	実施回数	参加者数(延べ)
語る会	牛山先生を囲んで宮島沼を語る	3月5日	サロン「からたち」	1回	21名
クリスマス会	クリスマス会	12月24日	サロン「からたち」	1回	10名
〃	クリスマス会(カラオケ大会)	12月25日	サロン「からたち」	1回	11名
サークル活動	プリザーブトフラワー教室	1月24日	サロン「からたち」	1回	3名
サークル活動	オカリナ演奏会	2月20日	サロン「からたち」	1回	12名
サークル活動	フリーマーケット	年 2回	サロン「からたち」	2回	30名
サークル活動	水墨画教室	毎月1回	サロン「からたち」	12回	25名
サークル活動	合唱	毎月1回	サロン「からたち」	8回	30名
サークル活動	フマネット(健康体操)	毎月2回	ザワ2階	6回	84名
〃	フマネット(健康体操)	毎月1階	イオン岩見沢店	12回	60名
サークル活動	お食事会	毎月2回	サロン「からたち」	12回	90名
支部開設10周年記念式	支部開設10周年記念式	10月19日	であえーる 3階大ホール	1回	40名

3-4.函館支部活動状況

No.1

事業名	事業内容	実施月日	実施場所	実施回数	参加者数(延べ)
第10回支部定期総会	H24年度事業報告 H25年度事業計画	5月19日	まちづくりセンター	1回	出席24名 委任24名
シーズネット通常総会	H24年度事業報告 H25年度事業計画	5月28日	札幌市民ホール	1回	1名
月例会	前月までの活動報告 当月翌月の活動計画	主に毎月 第3日曜日	サロン青柳町	11回	244名
役員会	事業計画の検討	月初め 4～3月	サロン青柳町	13回	89名
編集委員会	支部通信発行に向けて 編集会議	偶数月 中旬	サロン青柳町	6回	18名
支部通信の発行	25.5月～26.3月 (57号～62号)	奇数月	会員宅で作成 印刷	6回	全会員へ 配布
高齢者自立支援研究会	高齢者環境向上への研究活動	9月～3月	上新川町会館	6回	64名
花見会	ノンアルコールの花見会	5月10日	函館公園	1回	28名
納涼パーティ	「カラオケ愛好会」主催	6月16日	バブ・酔族館	1回	9名
マーじゃん大会	春季マーじゃん大会	5月26日	サロン青柳町	1回	31名
マーじゃん大会	秋季マーじゃん大会	11月10日	上新川町会館	1回	36名
第2回パークゴルフコンペ	パークゴルフ大会	7月18日	すずらんの丘 PG場	1回	18名

3-4. 函館支部活動状況

No.2

事業名	事業内容	実施	実施場所	実施	参加者数
財団 フェスティバル	フリーマーケットに参加	8月25日	函館陸上競技場	1回	16名
第9回NPO まつり	パネル展示とフリーマーケットに 参加	9月1日	地域交流まち づくりセンター	1回	9名
赤い羽根 街頭募金活動	社会貢献活動	10月6日	棒二アネックス前	1回	18名
パークゴルフ& シンギスカン交流		10月17日	旧陣川パーク ゴルフ場	1回	13名
支部結成10 周年記念 「講演会」	テーマ「函館における保険・ 医療・福祉の現状と課題」	10月20日	ホテル・テトラ	1回	会員 30名 一般 30名
支部結成10 周年記念 「祝賀会」	10年を振り返っての懇親会	11月5日	湯の川観光ホテル 祥	1回	会員 38名 来賓 3名
ボージョレの 夕べ	「愛好者」主催	11月21日	旧 J・J	1回	14名
忘年会	「カラオケ愛好会」 主催	12月17日	まねきねこ店	1回	23名
鏡開き	招福汁粉&マージャン大会	1月11日	上新川会館	1回	30名
新年会	新しい年を迎えての会員の親睦 ・交流	1月19日	ホテル・テトラ	1回	27名
ふまねっと 教室	ふまねっと運動	1～3月	上新川町会館	3回	24名
初心者麻雀 教室	マージャン初心者向け講習会	3月	上新川町会館	2回	8名
支部研修講座	「災害に備えて」	4月21日	サロン青柳町	1回	25名
支部研修講座	「函館市社会福祉協議会の 活動と現況について」	8月26日	サロン青柳町	1回	14名
支部研修講座	「函館市緑の基本計画」 について	10月21日	サロン青柳町	1回	13名
サークル活動 マージャンクラブ	マージャンによる親睦・交流	4～3月	サロン青柳町 上新川町会館	双方で 105回	述べ2,525名
サークル活動 パークゴルフC	パークゴルフによる親睦・交流	4～10月	市内、近郊 パークゴルフ場	12回	述べ142名
サークル活動 カラオケ愛好会	好きな曲を歌っての親睦・交流	4～3月	まねきねこ店	12回	述べ115名
サークル活動 話食の会	昼食(ランチ)を兼ねた懇談・ 親睦交流	4～3月	市内飲食店 サロン、会館	10回	述べ99名

4. サークル・グループ活動集計表

No	サークル名	合 計			
		24年度		25年度	
		延回数	延人数	延回数	延人数
1	歩こう会	18	321	18	336
2	囲碁を楽しむ会	44	242	63	281
3	映画を観る会	12	152	12	131
4	男の料理教室	12	164	12	154
5	カーリンコン			1	3
6	歌謡サークル	12	353	12	363
7	ゴルフを楽しむ会	7	53	8	96
8	酒と語り場	10	171	22	366
9	札幌のつどい	4	43	3	34
10	山遊会	33	326	29	322
11	シーズネット合唱団	24	1,139	24	1,102
12	シーズネットギャラリー	1	6	9	51
13	詩吟サークル	33	149	33	144
14	自然と健康を考える会	24	493	24	528
15	実用ふでの会	33	264	45	398
16	初心者麻雀を楽しむ会	54	1,593	45	1,300
17	楽しいお花	4	30	10	53
18	楽しいシングルライフ			12	161
19	たべものクラブ	12	308	12	354
20	短歌勉強会	12	56	12	63
21	ハーモニー森の声			3	38
22	ハーモニカ・オカリナ教室	22	361	21	363
23	百聞会	10	220	12	263
24	夫婦のつどい	6	67	6	83
25	ふまねっと運動	24	175	31	257
26	豊友会	12	230	16	255
27	マージャンクラブ	46	1692	47	1751
28	麻雀入門	16	232	45	1066
29	旅行クラブ	5	82	6	81
30	土曜のおしゃべり	10	88	9	86
31	サークル合同	5	194	2	85
32	絵手紙を楽しむ会	11	69	3	16
33	朗読を楽しむ会	23	172	16	100
34	ほっと安心	11	83		
35	シニアレクリエーション	1	16		
36	ハッピーダンス	2	4		
37	シーズネットひよっこ踊り	15	118		
38	歌謡体操			11	63
39					
40					
	合 計	568	9,666	634	10,747